

平成 30 年 6 月 7 日現在

機関番号：12613

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2014～2017

課題番号：26243001

研究課題名(和文) アラブ社会における多元的貧困の歴史的・構造的解明：エジプトとヨルダンを中心に

研究課題名(英文) Multi-dimensional Analysis on Poverty in Arab Societies: Focus on Egypt and Jordan

研究代表者

加藤 博 (Kato, Hiroshi)

一橋大学・名誉教授

研究者番号：10134636

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 30,580,000円

研究成果の概要(和文)：「アラブの春」は民主化の可能性を垣間見させるとともに、アラブ社会の脆弱性を露呈させた。本研究では、このアラブ社会の脆弱性を、貧困に焦点を当てて歴史的、構造的に明らかにするため、アラブ諸国、とりわけエジプトとヨルダンにおける社会経済統計の長期時系列データとGDP推計を可能にする人口を中心とした網羅的なマクロ・ミクロの統計群を収集し、そのデータベース化を計った。分析の中心は、貧困と直結する労働市場における雇用構造と失業状況を国、地域、村レベルで分析することである。現在、それらのデータ・情報の解析を進め、その成果の一部はすでに学会報告や学術雑誌への投稿などで公表している。

研究成果の概要(英文)：“Arab Spring” showed the possibility and limitation of the democratization of the Arab societies. The aim of this project is to make a multi-dimensional analysis on the poverty, since the poverty is a phenomenon that most clearly reflects the structural weakness of the society concerned. The works of this project is to make a database for the empirical study on the poverty in Arab countries; especially Egypt and Jordan, and to make an analysis from multi-aspects, being based on it. For this aim, the project concentrated its work in collecting not only macro data published by the Government, but also household-based micro data by social surveys in the smallest unit of administration: village and towns for case studies. Part of research results based on the collected household-based micro data has already been published.

研究分野：複合新領域

キーワード：アラブの春 貧困 パネルデータ ヨルダン

1. 研究開始当初の背景

2004年以降、本研究グループは、一橋大学とエジプト、ヨルダン、イエメンの統計局との間で結ばれた学術協定のスキームのなかで、当該3カ国の統計局と共同調査・研究を行ってきた。この共同調査・研究は「ジャパニーズ・プロジェクト」として認知され、各国統計局での統計データ、地理情報の収集と多くの都市と村での社会調査がなされつつあった。本研究プロジェクトは、この流れを加速し、それまで体系的になされてこなかった3カ国の基礎的な社会経済データと情報を収集・整理し、そのデータベース化を目指す一環として企画された。そのための研究テーマとしては貧困を取りあげたが、それは、貧困が政治、経済、社会にまたがり、アラブ社会の脆弱性を集約的に示す多面的な現象であり、「アラブの春」を総括するためにも相応しいテーマであると考えたからである。

2. 研究の目的

「アラブの春」は民主化の可能性を垣間見させるとともに、アラブ社会の脆弱性を露呈させた。この脆弱性はアラブ社会経済の在り方に根差している。本研究は、このアラブ社会の脆弱性を、貧困に焦点を当て、歴史的、構造的に明らかにすることを目的とする。貧困を取りあげるのは、そこに社会の脆弱性が集約的に現れる多面的な現象だからである。そして、そのためには、アラブ社会の住民の社会経済生活や彼らの意識構造に関する基礎的なデータ・情報を蓄積し、それを分析する手法を編み出さねばならない。日本はこの点において、世界に後れを取っている。本研究はこの遅れを解消し、日本に本格的な社会科学のアラブ地域研究を根付かせようとするものである。

3. 研究の方法

貧困は政治、経済、社会にまたがる多面的な現象である。そこで、その分析のためには、多様なデータ・情報を収集するとともに、それらを多角的な視角から関連付けて分析する手法を編み出さねばならない。そこで、資料面では、1) 政府作成のマクロ統計、2) 独自の社会調査で収集した世帯・個人単位のミクロ統計、3) 社会調査での聞き取り調査、4) 衛星画像を含む地理情報、5) 村に保存されている地方文書など、多様な資料を収集・整理した。とりわけ意を用いたのは、1) 2) そして4) である。そして、これらのデータ・情報を関係付ける手段として時系列統計分析、地理情報システム(GIS)を駆使し、貧困の歴史的、構造的、空間的分析を行った。

4. 研究成果

当初に研究対象として予定していたエジプト、ヨルダン、イエメンの3カ国のうち、イエメンは内戦状況が続いたため、研究対象か

ら外さざるをえなかった。しかし、エジプトとヨルダンについては、期待していた以上の研究成果を得ることができた。収集したデータ・情報のデータベース化とウェブサイトでの公表については、現在、準備中である。研究成果については、概ね次の二つのテーマに分類できる。第一は、貧困についての一般的な分析であり、第二は、村など特定のミクロ空間を取り上げ、事例研究という形での貧困の分析である。それぞれの代表的な成果は、「主な発表論文等」のうち、第一については雑誌論文1)、3) 4) 7) 13) 14) 17) 19) 21)であり、第二については雑誌論文2) 11) 15) 16) 18) 図書2) 3)である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計45件)

- 1) 北澤義之「2016年ヨルダン下院選挙に関する一考察 「公共圏」に注目して」 京都産業大学世界問題研究所紀要、33巻、2018年、69-90頁(査読無)
- 2) H.KATO and E.IWASAKI "Environment and Development in Modern Egypt: Case Study of the Idku Buheira Area" *Sophia Journal of Asian, African, and Middle Eastern Studies*, 35, 2017, pp.3-39(査読無)
- 3) 加藤博「歴史研究における情報の空間化 - エジプト社会経済史研究を事例に」『歴史と地理 - 世界史の研究』5月号、No.704、2017年、1-16頁(査読無)
- 4) 岩崎えり奈「貧困・失業と経済格差・不平等の研究と理論」私市正年・浜中新吾・横田貴之『中東・イスラーム研究概説』(図書所収)明石書店、2017年、208-215頁(査読無)
- 5) H.Kato and E.Iwasaki "Alexandria in the Time of Constantine Cavafy (1863-1933)", *Mediterranean World*, vol.23, 2017, pp.81-122(査読無)
- 6) 加藤博「エジプト西部砂漠のオアシス村研究をめぐる「出会い」FIELDPLUS、17号、2017年、28-29頁、(査読無)
- 7) 佐藤寛「忘れられた戦争-イエメンの人々を襲う人道的崩壊」『世界』8月号、2017年、196-206頁(査読無)
- 8) 加藤博「イスラーム経済の基本構造」『経済研究所年報』第29号、成城大学、2016年、5-44頁(査読無)
- 9) 加藤博「ナイルをめぐる神話と歴史」水島司編『環境に挑む歴史学』(図書所収)勉誠出版、2016年、292-307頁(査読無)
- 10) 加藤博「アレクサンドリア - 文明の交差する地中海近代都市」羽田正責任編集『地域史と世界史』MINERVA 世界史叢書1、(図書所収)ミネルヴァ書房、2016年、291-315頁(査読無)
- 11) H.Kato and E.Iwasaki "The 'Personality' of Economic

- Development in the Delta region of Egypt in modern times: a Focus on Buheira governorate”, 『アジア歴史 GIS 学会ジャーナル』(JANGIS), Vol.3, 2015, pp.31-37, (査読有)
- 12) 加藤博・穂山祐子「トルコにおける国民国家形成と人口センサス事業」『人文・自然研究』第8号、一橋大学、2015年、103-124頁(査読有)
 - 13) E.Iwasaki “Income Distribution in Rural Egypt; A Three-Village Case”. *Journal of African Studies and Development*, Vol.7(1), 2015, pp.15-30 (査読有)
 - 14) K.Fukao “Comment on Innovation and Economic Growth in East Asia: An Overview”, *Asian Economic Policy Review*, Vol.10, 2015, pp.38-40 (査読有)
 - 15) H.Kato and E.Iwasaki “Réseaux locaux en Egypte: Rôle des associations villageoises au Caire”, *Mediterranean World* Vol.22, 2015, pp.1-16 (査読無)
 - 16) R. Kimura, H.Kato and E.Iwasaki “Cultivation features using meteorological and satellite data from 2001 to 2010 in Dakhla Oasis, Egypt”, *Journal of Water Resource and Protection*, Vol.7(3), 2015, pp.209-218 (査読有)
 - 17) 岩崎えり奈「チュニジアの2014年選挙と地域」中東研究 524巻、2015年、76-94頁(査読無)
 - 18) H.Kato, Salwa Elbeih, Erina Iwasaki, Ahmed Sefelnasr, Adel Shalaby, and Elsayed Zaghoul “The Relationship between Groundwater, Land use, and Demography in Dakhla Oasis, Egypt”, *Journal of Asian Network for GIS-based Studies*(JANGIS), Vol.2, 2014, pp.3-10 (査読有)
 - 19) 加藤博・岩崎えり奈「グローバル化とエジプト革命」『社会学評論』258号 65巻2号、2014年、255-269頁、(査読有)
 - 20) 加藤博「エジプトの早すぎた明治維新 - 近代エジプトにおける国家と村落」歴史学研究会編『史料から考える世界史 20講』(図書所収)岩波書店、2014年、100-108頁(査読無)
 - 21) 加藤博・岩崎えり奈「エジプト革命のディレンマ - なぜ若者は疎外され、イスラム政党は排除されたのか」『世界』855号、2014年、232 - 241頁(査読無)
- [学会発表](計51件)
- 1) 加藤博 “Egyptian Ports in the Local and World Economies in the End of 19th century”, 一橋大学地中海研究会国際ワークショップ, 2018年3月23日, ウルビーノ大学(イタリア・ウルビーノ市)
 - 2) 加藤博「情報の数量化と空間化」上智大
- 学大学院グローバル・スタディーズ研究科ワークショップ, 2017年12月16日, 上智大学(東京都)
- 3) 加藤博 “Global economic history in 19th century from the Egyptian perspective” 第5回ANGIS 国際会議 “State of the Art in Historical GIS in Asia”, 2016年12月1日, フィリピン大学・ディリマン校(フィリピン・マニラ)
 - 4) 加藤博「エジプト革命における連続と非連続」東洋文庫超域研究・現代イスラーム研究班, 近現代の構造変動セミナー(第3回), 2016年7月16日, お茶の水女子大学(東京都)
 - 5) 加藤博「近代アレクサンドリアの復興」アレクサンドリア図書館コンソーシアム, 2016年7月14日, スルガ銀行六本木支店 d-labo (東京都)
 - 6) 加藤博「イスラーム文明と西洋」日本イスラーム協会公開講演会, 2016年6月19日, 東京大学(東京都)
 - 7) 加藤博 “Global Economic History from the Egyptian Perspective”, アジア貿易・価格統計ワークショップ, 2016年5月21日, Wohlfahrt Toyama (富山県)
 - 8) 加藤博 “Alexandria in the Time of Constantine Cavafy (1863-1933)” (岩崎えり奈と共同発表), 一橋大学地中海研究会国際ワークショップ, 2016年3月28日, イオニア大学(ギリシャ・イオニア)
 - 9) 加藤博 “Introduction. Background of the Research, Overview of Research Field, and Research Objectives”, Organized Session “Study of 'Sustainable' Development in the Water-Scarce Society - Case of a Village in the Western Desert (Egypt)”, International Symposium on Agricultural Meteorology (ISAM 2016), 2016年3月15日, 岡山大学(岡山県)
 - 10) 加藤博 “Change of Nile Irrigation System and Egyptian Villages” 上智大学アジア文化研究所ワークショップ Direction of Changes in the Nile River and the Egyptian Villages, 2016年3月11日, 上智大学(東京都)
 - 11) 加藤博・岩崎えり奈 “Reconsideration on Cairo and Alexandria in the Modern History Egypt”, Meeting of the Project at JaCMES “Human Mobility and Multi-ethnic Coexistence in Middle Eastern Urban Societies 2”, 2016年2月17日, 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所(東京都)
 - 12) 加藤博 “Egyptian Society Seen through the Eyes of a Japanese Researcher”, JSPS (日本学術振興会) The 30th Anniversary of JSPS Research Station, Keynote Speech, 2016年1月16日, Conference Center, カイロ大学(エジプト・ギーザ)
 - 13) 加藤博「エジプト社会経済史研究におけ

- る空間分析の可能性と限界」第 113 回史学会大会報告公開シンポジウム, 2015 年 11 月 14 日, 東京大学 (東京都)
- 14) 加藤博 “Islam and the World Today”, Special Lecture for Asia Leadership Fellow Program, the International House of Japan and the Japan Foundation, 2015 年 10 月 19 日, 国際文化会館 (東京都)
 - 15) 加藤博 「イスラム経済の基本構造」成城大学経済研究所講演会, 2015 年 10 月 10 日, 成城大学 (東京都)
 - 16) 加藤博 “Personality” of Economic Development in the Delta Region of Egypt in Modern Times. Focus on Buheira Governorate, 17th World Economic History Congress, 2015 年 8 月 4 日, 京都大学 (京都府)
 - 17) 加藤博 “Spatial Transformation of Cairo Viewed from Urban-rural Migration”, 3rd Meeting of the Project at JaCMES "Human Mobility and Multi-ethnic Coexistence in Middle Eastern Urban Societies" (岩崎えり奈と共同発表), 2015 年 2 月 13 日, 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 (東京都)
 - 18) 加藤博・岩崎えり奈 “Personality” of Socio-economic Development in modern Egypt”, The 3rd ANGIS (Asian Network for GIS-based Studies) Meeting, 2015 年 1 月 5 日, Princess Maha Chakri Sirindhorn Anthropology Centre, (バンコク・タイ)
 - 19) 加藤博 “Local Network in Egypt”, 2nd Meeting of the Project at JaCMES "Human Mobility and Multi-ethnic Coexistence in Middle Eastern Urban Societies“, 2014 年 9 月 15 日, JaCMES (ベイルート・レバノン)
 - 20) 加藤博 “Local Network in Egypt Viewed from Urban-rural Migration”, 一橋大学地中海研究会国際ワークショップ, 2014 年 9 月 4 日, ムハンマド 5 世大学社会経済研究所 (モロッコ・ラバト)
 - 21) 加藤博 “The Unifying of Historical Data to Geographical Information by GIS for the Study on the Socio-economic History of Egypt”, 1st Meeting of the Project at JaCMES "Human Mobility and Multi-ethnic Coexistence in Middle Eastern Urban Societies“, 2014 年 2 月 25 日, JaCMES(ベイルート・レバノン)

〔図書〕(計 15 件)

- 1) 飯島真理子、高橋暁生、米山かおる、岩崎えり奈、内村俊太、野沢文二、杉浦末樹、石井紀子、佐々木一恵、矢澤達宏、小塩和人、正山耕介、上智大学出版、『グローバル・ヒストリーズ「ナショナル」を超えて』、2018 年、332 頁 (109 - 130)
- 2) 加藤博・岩崎えり奈、北澤義之、臼杵悠、

吉年誠、SIAS ワーキングペーパー、上智大学イスラム研究センター、『カフル・マール村研究 - 北西部ヨルダン山村の社会構造とその変容 - 』、2017 年、157 頁

- 3) H.Kato and E.Iwasaki “Rashda: The Birth and Growth of an Egyptian Oasis Village”, 2016, BRILL, pp. 294+26,
- 4) 水島司・加藤博・久保亨・島田竜登編、名古屋大学出版会、『アジア経済史研究入門』、2015 年、377 頁 (191-245)

〔その他〕

ホームページ等

<http://www6.econ.hit-u.ac.jp/kato/>

<http://www6.econ.hit-u.ac.jp/areastd/egypt/>

6 . 研究組織

(1) 研究代表者

加藤 博 (KATO, Hiroshi)

一橋大学・名誉教授

研究者番号：1 0 1 3 4 6 3 6

(2) 研究分担者

岩崎 えり奈 (IWASAKI, Erina)

上智大学・外国語学部・教授

研究者番号：2 0 4 3 6 7 4 4

深尾 京司 (FUKAO, Kyoji)

一橋大学・経済研究所・教授

研究者番号：3 0 1 7 3 3 0 5

津村 宏臣 (TSUMURA, Hiroomi)

同志社大学・文化情報学部・准教授

研究者番号：4 0 3 7 6 9 3 4

佐藤 寛 (SATO, Hiroshi)

独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所・新領域研究センター・上席主任

調査研究員

研究者番号：5 0 4 0 3 6 1 3

北澤 義之 (KITAZAWA, Yoshiyuki)

京都産業大学・外国語学部・教授

研究者番号：9 0 2 5 7 7 6 7